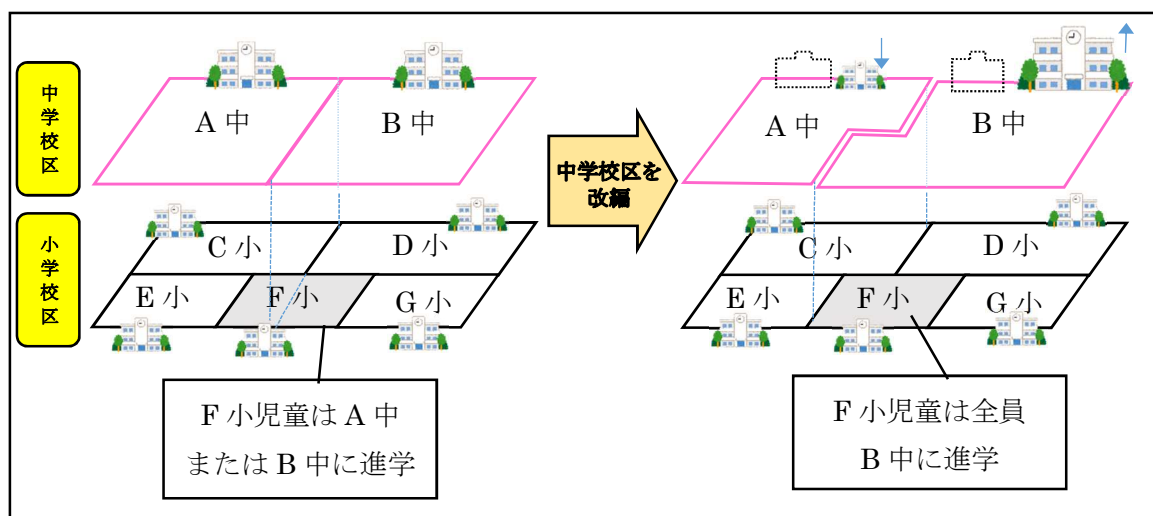


## (参考資料) 分割校の解消手法

## 1. 中学校区を改編する

小学校区の現状にあわせて中学校区を拡大または縮小します。図4ではF小の分割校課題について、F小児童全員がB中に進学する学区改編を行うことで解決しています。

図4 中学校区改編



## 課題

生徒が増加となる中学校が受け入れ可能な施設規模を有しているか。(例：B中がF小A中進学児童数を受け入れることにより施設規模が過大とならないか) 既存施設で受け入れができない場合、増築するのか改築するのか。将来の人口動態を見守るか等の検討が必要です。

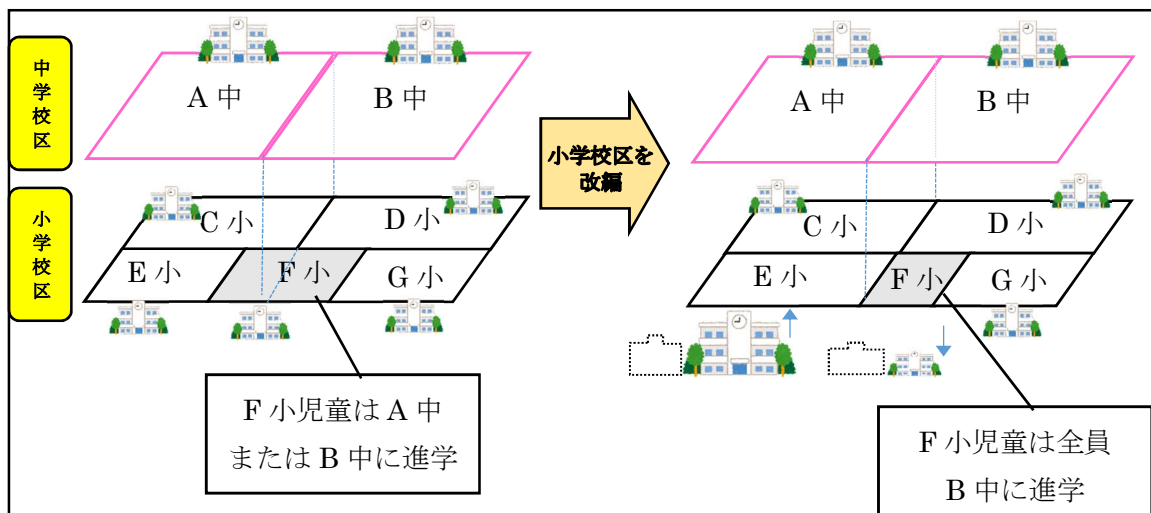
生徒が減少となる中学校が過小とならないかの検討が必要です。(例：A中からF小のA中に進学していた児童数が減少するため、A中の施設規模が過小とならないか)

当然ながらF小卒業制度が通う中学校が変わるため通学路の変更を伴うことにも注意する必要があります。

## 2. 小学校区を改編する

中学校区の現状にあわせて小学校区を拡大または縮小します。図5ではF小の分割校課題について、F小のA中に進学していた区域についてはE小校区とする学区改編を行うことで解決しています。

図5 小学校区改編



### 課題

生徒が増加となる小学校が受け入れ可能な施設規模を有しているか。(例：E小がF小A中進学児童数を受け入れることにより施設規模が過大とならないか) 既存施設で受け入れができない場合、増築するのか改築するのか。将来の人口動態を見守るか等の検討が必要です。

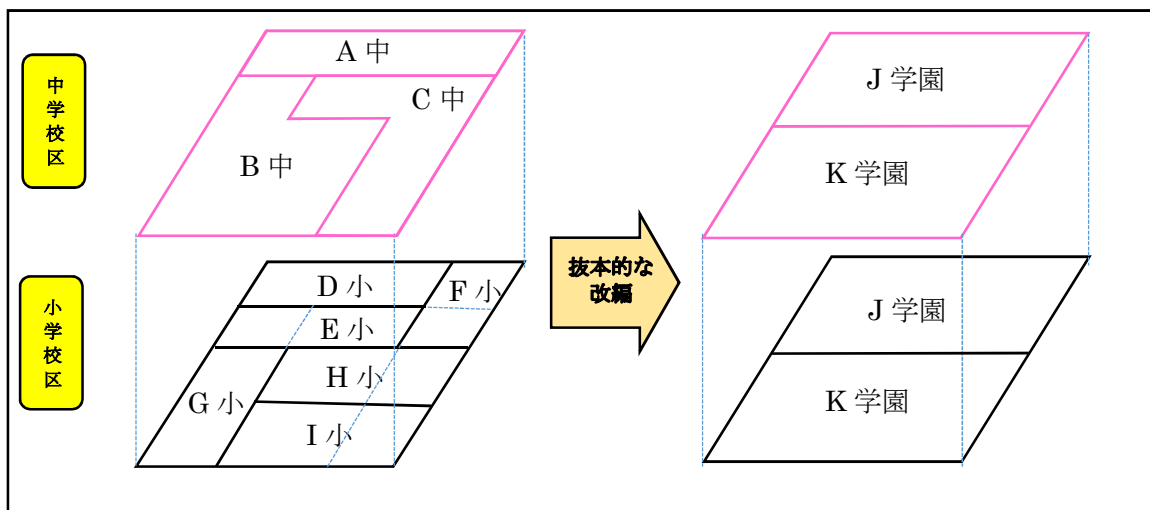
生徒が減少となる小学校においては、学級数が過小とならないかの検討が必要です。(例：F小からA中に進学していた児童数が減少するため、A中の施設規模が過小とならないか)

なお小学校区の改編においては、小学校低学年の通学路の安全性等を考慮すると中学校区の改編に比較して、より慎重に検討する必要があります。

### 3. 抜本的に統合する

分割校が隣接して複数ある場合は中学校区・小学校区について抜本的な統合を検討します。A~C 中、D~I 小の区域を抜本的に統合し、J 学園と K 学園の 2 区域としています。

図6 抜本的な統合



#### 課題

一括して分割校の解決ができる一方で、多数の指定校の変更を伴うため全ての地域への細やかな配慮が必要です。

統合により生徒・児童数を受け入れる施設の確保（既存施設で受け入れ不可能であれば増築・改築等）の検討が必要です。